

令和2年9月(2020年) No. 657

コロナ「三密」対策のもと

第60回目のOMCフェスティバル 11月28日(土)

会場の広い朝日生命ホールで開催本決まり

今年は新型コロナウイルス感染症蔓延のため各種の会合やイベントが中止となっていました。ようやくコロナへの対策を取ったうえでの行事などが復活し始めました。しかし「三密」対策上ソーシャルディスタンスが求められ、参加人数が半分以上に制限される等、厳しい条件下での開催となっています。

第60回目を迎えた記念すべき映写会は、中止という選択もあったのですが、諸先輩たちが築いてきた映写会をここで中断するのは残念なので、厳しい条件下ではありますが実施に踏み切りました。

まず、会場は客席数の多い朝日生命ホールで、定員を半分に減らしても来場者全員を収容できるの見込みから、事前申し込み制や抽選制などせず、通常通りの先着順に入場していただきます。マスク着用、体温測定、手指の消毒等の対策は取らねばなりません。

■ プログラム構成

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| ①2019 加太の夏 (12分) 宮崎紀代子 | ⑨令和よさこい (9分) 江村一郎 |
| ②百舌鳥・古市古墳群とは (8分) 中川良三 | ⑩小豆島紀行 (12分) 岡本至弘 |
| ③アンテロプ・キャニオン (12分) 華岡 汪 | ⑪めおと節人生 (11分) 河口禮志 |
| ④近江八幡・篠田の火祭り (12分) 進藤信男 | ⑫負の遺産 (7分) 関 剛 |
| ⑤片上鉄道 (10分) 紙本 勝 | ⑬宇出津のあばれ祭 (14分) (故)河合源七郎 |
| ⑥ネパールの中のニッポン (10分) 西村光雄 | ⑭台南の日本時代 (9分) 山本正夢 |
| ⑦嵐山のベテラン俵夫 (7分) 中村幸子 | ⑮奇跡の倒木桜 (7分) 高瀬辰雄 |
| ⑧頑張れヒデちゃん (8分) 堀 皓二 | ⑯魅せられてマダガスカル (15分) 合原一夫 |
- 休憩--
- 以上16作品

9月例会のお知らせ

■第2例会；17日(第3木曜日) 13時より 難波市民学習センター

※当日 OMC フェスティバルの出品作品に対しコメント(36文字内)を提出してください。
又は岡本副会長迄、メールにてコメントの送信をお願いいたします。

■通常例会；26日(第4土曜日) 18時より どうぞお越しください

8月例会日も続くコロナ禍

今月の書記担当 進藤信男氏

22日通常例会当日のコロナウイルス新規感染者数は、全国984名、大阪府134名、全国の重症者数は245名だった。一向に衰えない感染力には、驚きやら緊張させられるばかりです。マスクで予防に努めながらも、ウイルス治療薬が開発され普及するまでは繰り返すのではないかという観測が現実味を覚えるようになってきました。また、日常生活での「三密」の影響回避ばかりでなく、with coronaの生活様式を身に着ける必要性が一層重要になりました。一方、治療薬や医療用品の生産まで、産業の場だけではなく、政治の場に登場するなど様変わりの社会生活環境になってきました。

いつもなら、織姫と彦星を眺めながら、何処からともなく聞こえてくる風鈴の音を聞き分けようと耳を澄ませている時節なのだが、今年はそれも難しいようです。しかし、「星に願いを」かけながらも、趣味に興じることができる私たちは幸せなのだと思うのです。今月も、11名の皆さんが参加されました。

8月通常例会レポート

コロナのせいか、猛暑のせいか、出席者は11名にとどまったが、作品は何と10本の出品があり、本日担当予定の司会役が病欠の為 合原会長の司会のもと、ほぼ時間一杯の盛会となった。

■運営担当：司会 合原、書記 進藤、映写 中川、メモリー記録 江村、受付・照明 森下の各氏

■出席者：江村、岡本、紙本、合原、上総、進藤、関、高瀬、中川、森下、山本の11氏

【上映作品】(書記は進藤氏)

1. 日向 ひょっこり夏祭り・

動画配信プロジェクト BD

岡本 至弘 6分00秒

<作者コメント>

ひょっこり踊りのサークル「いっぺん笑おう会」のみなさん。毎年8月に日向(宮崎県)で、「日向 ひょっこり夏祭り」全国総踊りが実施されていましたが、今年は新型コロナ禍の影響で開催中止となりました。そこで、踊りをYou Tubeでコンテストを行うとのことで、撮影を依頼され制作したものです。東大阪を宣伝するために、花園ラグビー場をお借りしての撮影でした。熱い中、汗をかきながらでした。この作品をGiga File便で動画送信します。

<書記コメント>

こんな踊り行事が、昭和59年から続けられ今では37回目になるという。宮崎県日向市で作り出された踊りだと云うから地元の力の入れようはすごいものがあるようです。岡本さんの河内音頭グループは、もうお馴染みになっていましたが、赤い法被に「きつね」、「おかめ」、「ひょっこり」、「キッズ」の面をつけるキャラクターが定番の新しい領域ですね。楽しまれていますね。今年は、ビデオ参加に限定されたとのことですが、東大阪・花園ラグビーの威力も借りて健闘を祈ります。



2. 名鉄 谷汲線 BD

紙本 勝 11分30秒

<作者コメント>

谷汲山華厳寺参拝客の便を図った谷汲線も平成13年に廃止となり、現在は代替バスが運行されている。11Km余りしかなかったが時間の都合で二回に分けて歩いた記録で、風景の良いところもあり満足でした。

<書記コメント>

谷汲山華厳寺へは、平成のはじめころ三十三か所満願寺として参ったとき、駅前で柿を土産に買ってかえりました。そのときの掛け軸が、いまも時々お目見えしています。紙本さんの廃線ぶらり紀行も、No25とありました。各地それぞれの線路建設時の敷設目的により、廃線跡も様々なことが分かります。今回の場合、谷汲踊りの日に合わせていかれたのがよかったと思います。



3. 令和元年よさこい BD

江村 一郎 7分40秒

<作者コメント>

ことは開催中止となったが、去年の令和元年のよさこい祭り。8月9日前夜祭から10日11日の本番、12日全国大会と約200チーム約18000人が参加する高知市のカーニバル。編集ではいつもと違って水平を崩したり昼の踊りに花火を挿入したりいろいろと試みています。

<書記コメント>

ノンナレーション、映像の印象をイメージで展開する江村さんの作風。やはり、抽象化する映像の加工と合成の領域に近づきましたね。かつてフィルムでは難しかったことも、現在のパソコンを利用すると比較的实现しやすくなっているのかもしれない。心象映像の世界は、まだ私にはむつかしい領域です。一般にも分かりやすいポエム風の作品にしてみることや、抽象化する中でストーリー組み立てなど、いくつかの作品を作りながらより洗練されたものに昇華していけるのではないかと期待しています。



4. 高原都市ダージリン

DVD

合原 一夫

9分50秒

<作者コメント>

インド北部・国境の町 ダージリンは、標高2千米ほどの高地。イギリスが植民地として開拓した頃、紅茶生産に力を入れていた。そのため小型蒸気機関車を敷設し、運搬に使っていた。近年、世界遺産に登録されている。観光客がめったに行かないダージリンの旅。平成10年撮影。

<書記コメント>

イギリス東インド会社、紅茶のダージリン、かつての植民地の避暑地だった。いまでは、難しい国に挟まれたところ。こうして見せていただくと、合原さんの海外旅行目的は非常にはっきりしているように見受けられます。こんなところに、かつての蒸気機関車が残されている。そして、いまにも動かなくなりそうな姿で残されている。写真や動画の被写体として魅力的に見える。ネパールなのか、チベットなのかを考えさせる地名にも興味がひかれます。



5. チェコ・プラハを訪ねて

BD

中川 良三

9分53秒

<作者コメント>

2003年ヨーロッパ旅行に初めて行った時の記録。当時はビデオを持っておらず、カメラのビデオ機能で使って録画。今回の映像は写真スライドショーです。動画はカメラで撮ったものと、YouTubeからピックアップしました。BGMにチェコゆかりの作曲家ドボルザークの「交響曲第9番ホ短調 Op. 95 新世界より第4楽章」等を入れてムードを盛り上げていますが、プラハの世界遺産を思い出しながら編集してみました。

<書記コメント>

2003年といえば、平成15年。東ヨーロッパから中東にかけて、リトアニアのEU加盟、イラク戦争勃発、新感染症と指定されたSARSなどがあつた時、勇気がいるところです。チェコとスロバキア分離後のチェコに、初めてのヨーロッパ旅行に行かれた記録だと云います。静止画と動画の組み合わせ作品云々より、こんなところに注意が行ってしまった。YouTubeから動画のピックアップがあるとの事なので、旅行記録として整理されるのには役立つのだと思います。ドボルザークの交響曲も名曲なので、イメージをまとめるのには良いのですが、視聴環境には気を遣うところです。

6. ニースのカーニバル

BD

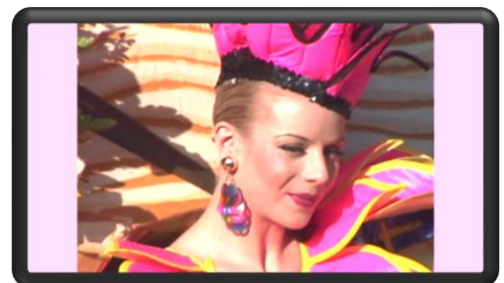
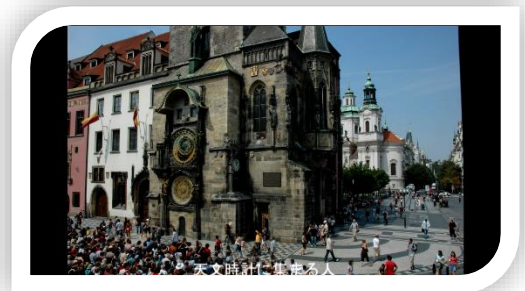
関 剛

10分00秒

<作者コメント>

キリスト教の国では1月末から2月上旬にかけてカーニバルの季節。訪れたニースではカーニバルの最終日で大いに賑わった。私の作品としては、少ないナレーション入りです。

<書記コメント>



冬の南欧コートダジュール・ニース、フランス一番の大カーニバルの撮影です。このカーニバルを旅行企画に組み込めば、旅客に喜びと幸せに我を忘れる喜びと幸せを提供できると云われるこの祭り。盛り沢山のプログラムと紙吹雪。作者にとどまらず、例会場で繰り広げられた映像を十分楽しませて頂きました。

7. 大仙公園平和塔

BD

上総 秀隆

5分40秒

<作者コメント>

堺市の大仙公園でかつて開催された全国植樹祭にお越しになった昭和天皇は「ここに私の名は残さないで下さい」とおっしゃった。そのわけは・・・・

<書記コメント>

作者の難しい問いには簡単に答えられないが、秘められた昭和天皇の想いと、平和にかける市民85万人の願い・決意に違いない。ガイド付きの催しでも、ここに案内されることは少ないのかもしれませんが。おそらく、各地にある平和記念棟には同じ思いが込められているように思われます。OMCで発表された作者の作品として、ひときわ目立つテーマです。そして、工業都市堺にふさわしい、高くそびえる一本の白い塔が印象的です。



8. 2020 祇園祭

BD

高瀬 辰雄

11分30秒

<作者コメント>

今年の祇園祭は山鉾巡行や神輿渡御などが中止となり、寂しい祭りとなりました。しかし、厄除けのちまきの販売や初めての御心霊渡御祭、茅の輪くぐりなどが行われ、本来の祭りの姿をとりもどしたような風景が見られた。

<書記コメント>

何年前か前、神輿渡御の撮影に行ったとき、三条商店街の狭い道路にある双旅社の前をにぎやかに進む神輿行列にカメラを向けていたことを思い出した。八坂神社、双旅社、神泉苑、いくつかの御旅所。地元に住ないとなかなか機会のない映像です。それにしても、的確にとらえたシーンの数々は今年の祇園祭を漏らすことなく表現されていました。



9. オーフス

BD

山本正夢

11分20秒

<作者コメント>

デンマーク第2の都市で学生が多い街でもある。観光名所は特にありませんが、息子が住んでいる関係で幾度か訪れています。

<書記コメント>

八世紀にバイキングが入植した要塞の町といわれますが、今では良港に恵まれデンマークの主要産業港になっている。人口34万人余りとあったが、毎年4000人程増加しているという。北欧の秋の景色、初めにあるシルエットで描かれたガラスの回廊、家庭での食事風景、学校図書館、資料室や閲覧室、酒場などの遊興施設と様々なシーンが展開されている。山本さん独特の日常生活に入ってみる町、生活を通しての北欧の人々の日常をみさせて頂きました。



<あとがき>

例会開催が難しくなったことを機会に始めた、You Tubeによる会員限定公開はご覧いただいていることと思います。いままで、諸般の事情で例会参加が難しかったり、遠隔のため機会を作りにくかった方々、例会の上映だけでなくもう一度見たいなどに応えるため掲載を続けています。

コロナ禍の終息がなかなか見通せないことや例会場までの道中での感染不安、加齢への対応などこれからも検討していく課題があります。

二カ月の掲載期間としていますが、限定公開の条件もあり、作品当たり視聴回数は4~9回。8月一カ月の視聴回数合計は100回です。開始以来5カ月になります。視聴された皆さんの感想などお寄せいただければと思います。原稿用紙か、メールによるかのいずれでもよいと思いますので、編集担当の中川さんに寄せて頂きたいと思ひます。